

# 磐城新聞

休刊 大祭第一、第二、三日  
定價 零售二錢、郵費十錢  
廣告料（報例）  
發行所 磐城新聞社  
編輯部 福島縣平岡町四丁目  
印刷部 福島縣平岡町四丁目

## 警中生私刑問題に就て辯ず

新田目春松 (下)

然るに上級の不良生は善良なるや否やと極めずば直に殴打をなす、斯くして學生に携帶用の短銃の上級生は卒業し一兩年の許可を警察署に出願するは、是に殴打せられたる者も父兄として執りたる方針は五年に及ぶる頃には卒業して誤りも甚しきに非ずや、したる殴打者の弟が入学しと思考す、短銃を警察署に來り三年に進級し來る是出願するも其の前に何亦不良生なり服装を亂し或故に學校當局に意見の交換は學生の本分を誤りたる行をなさざるや、余は是を觀爲ありたりとせば上級生がて火に油を注ぐの成ありと其の下級不良生の兄に任學思考す、假りに携帶を許す中級生に殴打せられたる時痛れたりとし上級生の殴打に知れせられたる時痛れたりとし上級生の殴打に至る是れが今日警中生同窓たりとせば愛子が殺人罪を生間し現在するストライキして獄に投せられ學校よりなり、斯の如き理由で生徒は退校を命せられ氣の毒な間にストライキが多く行はる結果を見るに至らむ是れ故に常に學校當局子弟の愛の誤りたる方針な局長と父兄等其の度らざるや、斯の如くして罪の毎に呼び掛り説諭し必ず子となる者多きは親の指導本人の弟が亦斯の如く誤りたるものなり、故に世打せらるる時痛れたりとし父兄諸士よ吾が子の愛にない訓練し置くが斯の如く潮る事な冷静なる判斷に學校當局が注意し、を與へ教育の本旨を覺れ、居ても今同の如き事あり、



血で血を洗ふ

忠太郎は千世姫の言葉を受けて、何れに自分責任が、今日迄の自分なり方が、恥かしいやうな心地がして、恥かしく、泣き出し、涙が、真似したやうに他の怪人に、出ぬであらう叔父も、かたがたの至るを待つ事が、出ぬであらう。

「考へて見ますに家中の侍などは風に吹かれる草のよう、右から吹けば左へ、左から吹けば右へ、渡れるものであります。」

「今日昌康公と重太夫の、意の儘に動いて、明日は、お二人に忠告を申し上げ、即ち昌康公の家臣を討つは姫君の御承を討つに等しいのであります。」

と忠太郎は深く考へる上、うに云つた。

「流石は忠太郎よく考へ下さいました、昌康公の臣を失ふは我が臣々失ふことでありました。」

と忠太郎の言葉を繰り返すやうに云つた。

「してこれからはどうのよう、に遊ばれる考へてござりまするか？」

と第二の問題について問ふのであつた。

忠太郎はじつと考へた。

平岡町通り  
磐城病院  
電話二一四番

平岡町屋町  
藤沼醫院  
電話五〇七番

平岡町跡跡  
青沼醫院  
電話四〇三番

平岡町  
御料理  
魚榮  
電話四二四番

## 工場改築記念特価大賣出し

十一月廿四日より 卅日七日間

- ◆ 最中 十個 十錢
  - ◆ ドーナツ 四個 十錢
  - ◆ ビスケット 百枚 十六錢
  - ◆ 衣パン 同 二十錢
  - ◆ 佐久間ドロップス 同 三十四錢
  - ◆ 福袋 一袋 三十錢
- マツモトヤ  
平岡町四丁目  
電話二一四番

## 貸地廣告

平岡町役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります。然かも完全な土盛であり、流石失其の他の憂ひ絶對になく、諸工務並に高級の住宅地として最も適地を極く安値にお貸しいたします。御希望の方は電話なり或は社員の御用ひして親しく御相談に應じます。

## 小名濱商事株式會社

平岡出張所  
電話六〇三番  
五四一番



天與之美音を以て眞の藝術に生きたる實師は斯界の明星として各地共に湧くが如き大人氣賞賛する大天才たり。今般滿鮮地方巡業中の處御當地愛浪家諸彦の熱誠なる懇望に據り初御目見得特別大興業好機聞きもらさなく是非御來聽を希ふ。

# 浪界東國 篠田實師大行

當十二月三日四日限り  
午後五時開演(號袍合圖)  
入場料 平岡町  
一等 八錢  
特等 十錢  
平劇場

## 耳鼻科專門 大和田醫院

入院隨時(自炊の便あり)  
平岡町  
電話五三三番  
高久病院

内科小兒科  
外科花柳病科  
耳鼻喉科  
レントゲン科  
電話五三三番

福島縣平岡町  
山崎合名會社  
電話一〇七〇番  
電話一〇七〇番  
電話一〇七〇番

平岡町  
ケーテー洋服店  
電話一〇七〇番



# 青麻山 中風靈藥

定價一週分九〇 二週分一七〇 三週分二五〇  
動脈硬化症、腦溢血、半身不隨、言語難澁、其の他中風より起れる諸症に偉効を奏す  
是非御試用を勸む  
平岡町五丁目  
代理店 山野邊藥局

### 死に迫る愛児を負ふて 四十路の父故郷に歸る

産後の妻に死なれ失職の男  
平署でけいふ涙の哀願

今廿八日午前八時頃、平署から岩手県に入信した。病みははげしく、二才位の男の子を背負ひ、「可愛や、死にてもうな、もうな、死にてもうな、もうな」と泣きながら、平署に送り出した。平署の職員等は、この子を救うために、平署に送り出した。平署の職員等は、この子を救うために、平署に送り出した。

### 川岸火防組の 消火器盗難

平署犯人捜査

平署で川岸火防組の消火器が盗難された。平署で川岸火防組の消火器が盗難された。平署で川岸火防組の消火器が盗難された。

### 小名商港豫算案

民政黨議員の横暴で  
有志急遽出福

小名商港修築費中の縣負担額が削減され、有志急遽出福。小名商港修築費中の縣負担額が削減され、有志急遽出福。

### 有志人夫を募つて 縣道改修工事

篤志な村人達より

有志人夫を募つて、縣道改修工事に奔走する村人達。有志人夫を募つて、縣道改修工事に奔走する村人達。

### 積極施設設計劃

資金難で働かれず  
平商業學校問題

積極施設設計劃、資金難で働かれず。平商業學校問題、資金難で働かれず。平商業學校問題、資金難で働かれず。

### 有志人夫を募つて 縣道改修工事

篤志な村人達より

有志人夫を募つて、縣道改修工事に奔走する村人達。有志人夫を募つて、縣道改修工事に奔走する村人達。

### 青年會總會

廿七日植田で

青年會總會、廿七日植田で開催。青年會總會、廿七日植田で開催。

### 整列した訓練生に 自動車突當る

その内二人重傷を負ふ

整列した訓練生に、自動車突當る。その内二人重傷を負ふ。整列した訓練生に、自動車突當る。

### 稲増収穫講習

小川村農會で  
篠田實來平

稲増収穫講習、小川村農會で開催。篠田實來平、稲増収穫講習。

### お尋ね者の怪賊 平署に就縛

川前驛前旅館を以て  
一縣下へ荒し廻り

お尋ね者の怪賊、平署に就縛。川前驛前旅館を以て、一縣下へ荒し廻り。

### 平製氷工場 小名濱に移轉

小名濱に移轉

平製氷工場、小名濱に移轉。平製氷工場、小名濱に移轉。

### 植田警察署舎の 改築氣運濃厚

古川、鷲雨氏により  
關係民の要望

植田警察署舎の改築、氣運濃厚。古川、鷲雨氏により、關係民の要望。

### 三年半求刑 言渡し廿八日

石城郡大浦村  
愛児殺しに

三年半求刑、言渡し廿八日。石城郡大浦村、愛児殺しに。

### 時言

小名濱港豫算案指し  
危機に立つ、本部選出

時言、小名濱港豫算案指し、危機に立つ、本部選出。

### 時言

小名濱港豫算案指し  
危機に立つ、本部選出

時言、小名濱港豫算案指し、危機に立つ、本部選出。

### 時言

小名濱港豫算案指し  
危機に立つ、本部選出

時言、小名濱港豫算案指し、危機に立つ、本部選出。

### 時言

小名濱港豫算案指し  
危機に立つ、本部選出

時言、小名濱港豫算案指し、危機に立つ、本部選出。

財界不況に伴い値下断行  
十一月二日ヨリ

カブレツ	二十銭	カレイアイス	二十銭
マンチカツ	二十銭	ハヤシライス	二十銭
ハヤシビフ	二十銭	ポークライス	二十銭
御酒	一本 二十銭		

西洋御料理  
カフエータヒラ  
平町一丁目(電話六二〇番)

良品廉賣に勝る商略なし  
磐城平町五丁目  
和洋銅鐵(久) 釜屋商店

金物問屋(久) 諸橋久太郎  
電話 九番一三九番  
振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は生命なり

釀造元 清水屋  
清世界 小野晋平  
銘酒 電話 六番

時計の進歩! 遂に  
感動の腕用時計を生めり  
不感の腕用時計を生めり

打付けても、たゞき付ても、硝子も毀れず狂はない  
側はクローム側にて  
小形です

平町四丁目  
會田時計店  
電話 三三三

振動の時計  
TRADE MARK NIPPON OPHONE  
平町四丁目  
會田時計店  
電話 三三三

佐藤材木店  
常磐線平町 新川町  
電話 三三五番

各種業務  
内地材 材木各種、羽柄材各種、建築諸材請負、礦山用坑木其他諸材請負、外材部 米松、米杉、大角製材調達、請負員 其 他

佐藤材木店  
常磐線平町 新川町  
電話 三三五番